

はまぼうふう vol.44 2012. 12. 20.

石狩浜海浜植物保護センター通信

HP 上ではカラーでご覧になれます

開催します！

いのちあふれる石狩湾 海の生きもの講座

海中から浜辺まで 映像と標本で見る

海と海辺が織りなす石狩海岸の自然、風景の魅力を広く知ってもらい、保全の意識啓発を図るため、今年度、石狩浜海浜植物保護センターでは、いしかり海の「環」発見事業として、海中の映像撮影に取り組むとともに、海の自然体験教室を通じて磯の生きものにふれあいました。本講座では、その成果を報告するとともに、海と海辺の自然環境に関する普及啓発と保全の展望について、以下3名の方にお話いただきます。

■水中カメラが映す石狩湾の生物多様性

ダイビングショップ ゼムハウス 代表 藤田 尚夫

■自然教室を通じた磯の生きもの観察

旭川大学地域研究所 特別研究員 斎藤 和範

■漂着物から見た石狩湾の生きもの

コメンテーター・いしかり砂丘の風資料館 学芸員 志賀 健司

【日時】 2013年2月2日(土)14:00~16:30

【会場】 札幌エルプラザ 2F 環境研修室 (札幌市北区北8西3)

【定員】 80名 (先着順・前日まで当センターまで要申込)

★本事業は全国モーターボート施行者協議会からの拠出金を受けて実施するものです。

●●●あわせて展示も行います●●●

海の生きもの写真展

【期間・会場】 2013年1月22日(火)~2月14日(木) / 札幌エルプラザ1F 情報センター

2013年2月20日(水)~3月3日(日) / 石狩市民図書館エントランスホール

【主催】 石狩浜海浜植物保護センター

【共催】 いしかり砂丘の風資料館・石狩市民図書館・石狩市公民館・札幌市博物館活動センター・小樽市総合博物館

【協力】 札幌市環境プラザ・NPO 法人ねおす・北海道自然史研究会



いしかり海のふれあい自然体験教室で、箱メガネで海の中をのぞく子どもたち (活動報告は4ページ)



子どもたちが採取した生きもの
左：カジカの仲間
右：イトマキヒトデとマヒトデ



●●●2012年記録写真展●●●

2012 石狩浜花たちの記録

【期間・会場】 2013年3月26日(火)~4月7日(日)

/ 市民図書館エントランスホール

今年は鳥の写真が充実です！

●閲覧室入口右側でも通年で写真展示中●

本号もくじ

レポート 北限のイソスミレ最近の分布状況・・・p2

寄稿 河口から川をながめる・・・P3 活動の記録・・・P4



2012.12.20.

レポート

■■■■北限のイソスミレ 最新の分布状況■■■■

石狩川河口左岸砂嘴（はまなすの丘公園）は、絶滅危惧Ⅱ類（環境省）に指定されるイソスミレ（*Viola grayi*）の北限の群生地として知られ、1989年の石狩川河口植物調査により、その分布状況が示されました。その後、調査から約20年が経過し、多くの市民が自然観察を行う中、かつての群生箇所がなくなった、また、増えているのでは？などの声を聞くようになりました。

そこで、市民ボランティアさんが「花砂丘仕事人」として数年間かけて調査に取り組み、2012年時点のイソスミレの分布状況を明らかにしました。今回は、1989年と同様の調査メッシュに重ね、分布状況の比較を行った結果を報告します。

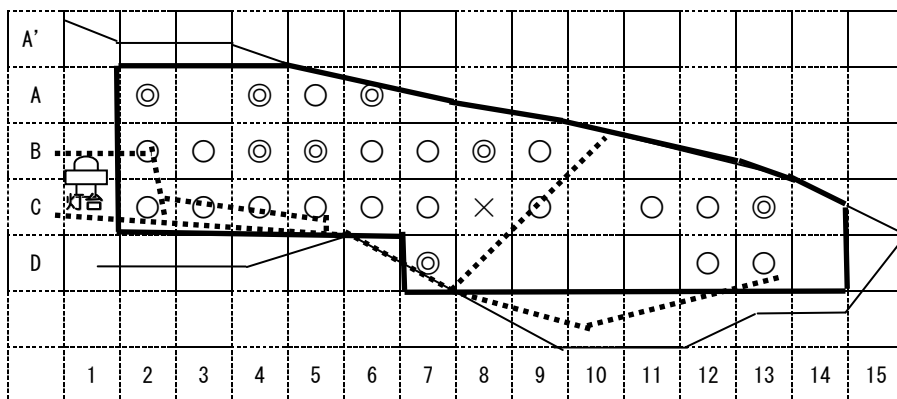


イソスミレ

メッシュ単位でイソスミレ生育の有無を示すと下図のとおりでした。B2、B3 など17メッシュで、1989年に引き続き分布が確認されました。新たに分布が確認されたメッシュはA2、A4、A6など8メッシュで、B5以外は30株未満でした。これらのメッシュでは分布拡大の過程にあると推測できますが、今後のモニタリングで明らかになるでしょう。1989年に記録があるものの2012年に確認できなかったメッシュはC8のみでした。

1989年の調査では株数の記録がないため、継続して分布する17メッシュでの増減の比較は難しいですが、2012年の調査で各メッシュの株数が記録されましたので（一部は2013年調査予定）、今後の追跡調査で、株数レベルでの増減が把握できるでしょう。

（データ提供／寒河江洋一郎（石狩市在住・花砂丘仕事人）



- 注
- 1) □ : 100m×100mメッシュ
 - 2) — : 砂嘴水際線
 - 3) — : 調査範囲
 - 4) : 散策路
 - 5) ○ : 1989, 2012年とも生育確認
 - 6) ◎ : 2012年に確認
 - 7) × : 1989年のみ確認

図. 石狩川河口砂嘴（はまなすの丘公園）におけるイソスミレの分布状況

2012. 10/6-7はまぼうふう交流会in湘南参加報告

神奈川県茅ヶ崎市を拠点に活動するNPO法人ゆい主催により、開催されました。北は北海道中標津、南は愛媛県伊予市より、計11団体の参加があり、石狩からは、当センターといしかり海辺ファンクラブが参加しました。NPO法人ゆいによる地元小中学校や大学等と協働した「砂草100人の里親プロジェクト」、浜松市サンクチュアリNPOによる育成活動「ジュニアレンジャー制度」、愛媛県立農業高校による高校生が進める海浜植物調査と啓発活動など、各地の取り組みが発表されました。石狩からは、当センターといしかり海辺ファンクラブが参加し、活動の紹介と、海浜植物等保護地区の指定状況などを報告しました。津波被災地からの参加もあり、活動再開の報告もありました。



砂浜の背後は道路と黒松林。砂浜と道路の間に、帰化植物と混じりながら海浜植物が見られた。



石狩浜では見られないハマゴウが咲いていた。

寄稿

■■■■河口から川をながめる■■■■

はるか大雪山系より 268km の旅を終えて石狩湾に注ぐ石狩川。河口を歩いていると、上流から流れてきたと思われる水草を見つけることがあります。中には、絶滅危惧種のミクリもあり、石狩川流域に生育していることが想像できます。今回は、中下流域の湖沼群の水草に関する報告を紹介します。

石狩川湖沼群：その成り立ちと水草の豊かさについて考える

(末吉正尚¹、菅我昌史¹、石山信雄¹、林田寿文²、布川雅典¹)

(¹北海道大学農学院、²独立行政法人寒地土木研究所)

石狩川は全国でも 2 番目の広さの流域と 3 番目の川の長さをほこる日本有数の大河川です。その中下流域は明治中期頃までは 770km² にも及ぶ広大な湿地帯でしたが、明治以降の開拓事業によってその多くが失われ、現在では約 50 の湖沼が点在するに過ぎません^{*}。湖沼はその成り立ちから主に、湿地の名残である後背湿地と昔は川だった三日月湖に分けられます。さらに三日月湖は流れの変化で自然に取り残された自然短絡と、人の手によって川がまっすぐにされた際に切り離されたショートカットの 2 タイプに分けられ、それぞれ異なった湖水環境をもちます(写真 1,2,3)。こうした湖沼にはかつての湿地や川の生き物たちが今でも棲んでいます。湖沼のタイプの違いが生き物の豊かさにとどのように関係するか、はっきりとわかっていませんでした。



写真 1. 後背湿地
自然形成で全体的に浅い



写真 2. 自然短絡
自然形成で岸際が浅い



写真 3. ショートカット
人工形成で全体的に深い

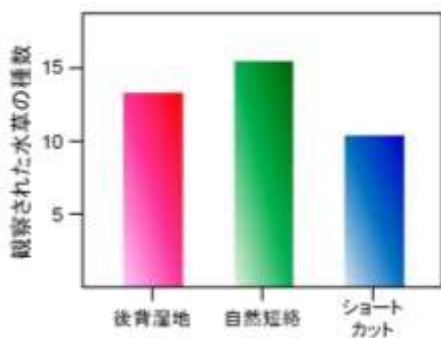


図 1. 湖沼 3 タイプの平均水草種数



写真 4. ミズアオイ

そこで私たちは、残存する 3 タイプの湖沼に棲む水草を調べました(図 1)。その結果、後背湿地、自然短絡では、ショートカットに比べて水草種数が多いことがわかりました。特に、北海道レッドリストで準絶滅危惧種に指定されているミズアオイ(写真 4)・ミクリ・イヌタヌキモ、希少種に指定されているエゾミクリ・ホソバヒメガマなどは後背湿地・自然短絡で多く確認されました。自然の形成過程に由来するこれらの湖沼には、かつての湿地のような浅く湿った場所が多く残されており、豊富な種数や希少種の生息に貢献したと考えられます。そのため、特に、この 2 つのタイプの湖沼を保全しておくことが希少種を含めた水草の保全に役立つと考えられました。

^{*} 北海道開発局石狩川建設部(2007): 石狩川下流自然再生計画書

2012.12.20. 活 動 報 告

海辺の風景再発見の旅

6/30 参加者 46 名

石狩砂丘の北端、無煙
浜から聚富、石狩川河
口砂嘴など海浜植物群



生地を巡り、石狩浜の風景の多様性を実感しました。

(全国モーターボート施行者協議会助成事業)

いしかり海のふれあい自然体験教室

7/14 参加者 29 名 ※写真は 1 ページに掲載。

浜益区の磯浜で、海遊びの魅力を発見し、海の環境保
全に目を向けました。海に入って箱メガネでのぞくと、
海藻や岩のすき間に、ヤドカリ、ヒトデ、カニ、貝、
小魚、たくさんの生きものが見えました。

最初はなかなか捕まえられませんでした。慣れてく
ると、たくさんの生きものが集まりました。海の生き
もの多様性を実感しました。

帰り際には海辺のごみ拾い。ペットボトルやプラスチ
ックが多かった印象。海を漂うゴミが生きものに与える
影響も考えました。(全国モーターボート施行者協議会助成事業)

親子体験講座「テンキ編み」

7/28・8/4 参加者 13 名

ハマニンニクを用いたアイヌ工芸「テンキ編み」に挑
戦しました。材料の採集を通じて、海浜植物の生態を

学ぶと共に、
アイヌ工芸に
ついて理解を
深めました。



(材料ハマニンニクを採集する参加者)

夏休みミニ自然教室

7/28・29,8/4・5・10・11

参加者 130 名

夏休みの自由工作にと、多く
の親子が利用されました。



自然教室「海浜植物で草木染め」

8/4 参加者 14 名

ハマナスの根や葉、花びら



でハンカチを染めました。(染まったハンカチを持つ参加者)

自然教室「ハマナスのジャム作り」

9/1 参加者 25 名 & 「ススキの人形づくり」

ハマナスの実を採取してジャムをつくり、ススキの穂
でフクロウなど人形をつくりました。



いしかり海辺ファンクラブ・海浜植物保護センター共催 石狩浜フットパス・魅力発見ツアー

9/8 参加者 30 名

海浜植物保護センターか
ら川の博物館付近まで、
海辺の景色を楽しみなが
ら約 7km を歩きました。



科学の祭典 in 石狩 出展 「海辺のはっぱウォッチング」

9/9 プース参加者約 60 名

海浜植物の葉っぱの特
徴・性質を知ってもらう
取り組み。葉っぱのスタ
ンプが人気でした。



自然教室「砂のなるほど教室

～砂時計と砂絵づくりに挑戦～

9/29 参加者 6 名

砂をテーマに、野外観察
と砂時計、砂絵作りに取り
組みました。



はまなすの丘景観保全作業

10/20 参加者 124 名

途中からの荒天で短時間の
作業でしたが、多数の参加
により成果が上がりました。



2012 年度来館者数 9,051 名

今年もたくさん
のご協力、ありがとう
ございました!

ボランティア参加者数 延べ 463 名

問合せ・申込み

4/29～11/3:石狩浜海浜植物保護センター
〒061-3372 石狩市弁天町 48-1

tel.0133(60)6107 (火曜休館・休館日は以下へ)

11/4～4/28: 石狩市役所市民生活部環境室内

〒061-329 石狩市花川北 6 条 1 丁目 30-2

tel.0133(72)3240

email. ihama@city.ishikari.hokkaido.jp

HP: <http://www.city.ishikari.hokkaido.jp/kaihinsyokubutu/>